

なな山だより

なな山緑地の会会報 第10号 2008・1



あけましておめでとうございます

東方の山からなな山に射す朝の光

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。

早いもので今年の本会発足5年目をむかえます。お陰さまで昨年は事故も怪我人もなく、おだやかな1年でした。畑の収穫も満足できるものでした。懸念していたキノコ類も多くの収穫がありました。その他、新しい草花も何種かみつけました。また、多くの児童がなな山を訪れ、自然とのふれあいを楽しんでくれました。

いよいよ今年は東隣の山の管理が始まります。いままでのなな山緑地とちがい、全く人の手が入っていない山ですので1～2年は作業が大変だと思いますが、新しい発見があるかも知れず楽しみです。

今年も怪我、事故がないように、楽しくやりたいと思います。

みなさまのご協力、ご支援をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

なな山緑地の会 会長 高木 直樹

なな山緑地に子供たちが大勢やってきました



11月23日、勤労感謝の日、お天気は快晴です。この日、多摩第二小学校PTCA(親と教師と地域住民の会)主催で子供たちの自然観察会が行われました。午前10時児童60数人、幼児も数人、先生、お父さんお母さんなど大人が約30人計約100人弱が集まりました。広場は人でいっぱいです(写真左)。

まず子供たちは、カブトムシの幼虫取りをしました。なな山のスタッフから、取り方の注意を受けたあと早速、落葉囲いの堆肥の中からカブトムシの幼虫の採取をはじめました。なにしろ沢山いるので全員が2~3匹ずつ採れて大満足です(写真右)。なかには、今日来られなかったお友達のためお土産に何匹か持って帰る子もいました。



そのあとは、ノコギリで木や枝を切ったり(写真左下)、枝やドングリを使って工作です。熱心に取り組み、自動車、船、ヤジロベエ、独楽、ペンダントなどが沢山できました。

また、林のなかでは、ハシゴに登って高い所からあたりを見渡す遊びが大人気で、順番待ちの列が長く続いていました。(写真右下)



お昼には、お母さんたちが学校で作った豚汁も運び込まれて、広場でお弁当を食べました。午後からも遊びの続きです。1時半に帰る準備になりましたが、子供たちはもっと遊びたい様子でした。「また来年も来たい」と言いながら2時頃には学校へ帰って行きました。

なな山緑地の会のメンバーも一緒に楽しんだ秋の一日でした。(鎌田記)



広げよう会員の和

リレー随筆(10)

なな山緑地の会の活動に参加して

隅田泰生

2006年10月に多摩市のグリーンボランティア講座(5期)を修了し、その後副会長の相田さんから熱心な入会のお誘いが有り、2007年3月に入会しました。

これまで何度か活動に参加しましたが、会のメンバーの皆さんの熱心な活動振りには感心させられています。

なな山緑地は住崎さんから多摩市に寄贈されたものですが、この貴重な緑の財産を良好な状態に保全し次世代に受け継いでいってもらえればと思っています。また近々東側の林がなな山緑地に加わるのは嬉しいことです。

世界中で起きている異常気象の原因とされる地球温暖化の元となるCO₂を吸収し、O₂を供給してくれる森や林を破壊から守る必要性を強く感じています。我々の活動自体は小さなものかもしれませんが、これが各地に広がればと思いつつ活動に参加をしています。今後共微力ですが楽しみながら出来る限り継続して活動に参加したいと思っています。

さて次へのバトンタッチは、いつもお元気に活動されている風間さんをお願いしたいと思います。どうぞよろしく。



トキリマメ マメ科

Rhynchosia acuminatifolia Makino

8 月半ばにトキリマメが黄色の花を咲かせた(写真左上)。10 月に入ると莢が赤く色づき(写真右)、11 月になると莢は弾けて、真っ黒い実が二つ飛び出した(写真左下)。よく似た植物にタンキリマメがあるが、トキリマメの葉は先端が尖っており、タンキリマメの葉の先は丸いことで判別できる。つる性の植物にはキュウリのように巻きひげによって他のものに巻き付くもの、サルトリイバラのように刺をひっかけながら登るもの、ツタのように巻きひげの先端が吸盤状になっていて張り付き伸びていくもの、テイカカズラのように茎から根を出して張り付くものなど、固定するための器官を分化させていくものがある。トキリマメは特別な器官があるわけではなく、若い茎が他の物に巻き付いて伸びていく。



植物のつるは昔から綱や紐、籠の材料、橋など、生活の中で使われてきたが、つるフォルムを利用したもので世界的に有名なものに唐草模様がある。つる性植物の生命力の強さから吉祥紋様とされ、また異質なものを融合させやすいフォルムであることからヨーロッパからアジアの各地に広がったようだ。エジプト、メソポタミアを起源とし、日本へはシルクロードを経て、中国から仏教とともに伝わったとされている。

唐草模様の種類は多く、忍冬唐草、葡萄唐草などはつる性植物をそのままデザインしたものだが、つるを基幹として様々な花を取り込んだ蓮華(ハス)唐草、宝相華(極楽浄土に咲く花)唐草、牡丹唐草、菊唐草など、さらに動物までも巻き込んだものまで出てきた。中国、韓国、日本では仏具や調度品や陶器の装飾に、インド、インドネシアでは更紗に、ヨーロッパでは建築物の装飾として、また絨毯、家具、陶器、書籍の表紙・扉などの装飾に使われてきた。19 世紀末のアール・ヌーボーの時代になると植物紋様が新しい形で登場した。つる性でなくてもつる性植物のごとく流線型にデザインされた。ウィリアム・モリスの壁紙、マッキントッシュの椅子、オットー・ワグナーの建築装飾など、それらは現在も生き続けている。

日本においては装飾性の高い唐草模様は簡略化され、つるだけを残したといってもよい模様となった。最近は見られなくなった唐草模様の風呂敷だ。それが今、ドロボーグッズに定着しているのは、はなはだ気の毒。何千年もの時間を生きてきた唐草模様の輝かしいバイバルはないものだろうか。

写真

1. 宝相華唐草文経箱 平安時代
2. 蓮華唐草透彫華鬘 鎌倉時代
3. ウィリアム・モリスの内装用ファブリック 1884 年
4. グスタフ・クリムト「生命の木」1905-09 年
5. オットー・ワグナー「マジヨリカハウス」1898-99 年
壁面につるの花の装飾が施されている。



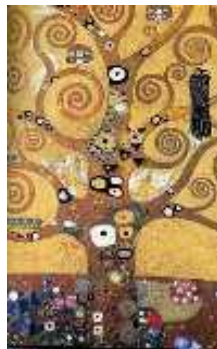
1



2



3



4



5

2007・10・14(日)曇り 気温18

シイタケが沢山取れました。サツマイモも1畝 20kg 収穫。参加者11人。
「作業」畑=サツマイモの収穫、ブロッコリーの困い直し、ダイコンの間引き。
 シイタケ収穫。草刈り(斜面・西谷奥・東の水まわり)。機械整備。植物養生。
「観察」咲いていた花 = オケラ、カシワバハグマ、ノアザミ、ノコギリク、アレチウリが侵入してきた。シイタケは大きく、肉厚で美味しい。去年は不作だったが今年は大豊作！5kgは取れました。(写真右)。



2007・10・28(日)快晴 気温23

台風一過の秋晴れでした。サツマイモ大豊作。シイタケもまた沢山取れました。参加者9人。
「作業」畑=ダイコンの間引いて1本にする。サツマイモ収穫60kg以上。収穫後に堆肥入れ。シイタケもまた一籠収穫。南斜面のコナラを間伐、リンドウに陽を当てる。
「観察」見つけた植物 = キチジョウソウの花、ムラサキシキブの実、ヤツデの蕾、ヤマウドの実。

2007・11・11(日)曇り時々小雨 気温15



会員が増えました。ナメコが発生(写真左)。参加者13人。
「作業」ナメコの収穫。下草刈り(山頂付近)。散策路の改修。11/23に来る子供たちのための木工細工の準備(車輪用の材料に穴をあけるなど)。
「観察」見つけた植物 = アオハダの実、ヤクシソウ、タイワンホトギス、ヒラギの花。
 グリーンボランティア6期生の望月さんが入会されました。
 お昼にナメコ汁をつくりました。取れたてのナメコが入ると美味しい。

2007・11・25(日)晴れ 気温15

「収穫祭」でホウトウ汁を作りました。サトイモも大量収穫。参加者13人。
「作業」畑=サトイモ収穫、ヤツガシラも取れる。収穫の後に堆肥置き場から堆肥を運ぶ。草刈り(東側斜面を中心に)。**「観察」**見つけた植物 = トキリマメ、リンドウの花、野生は珍しい(写真右) お昼は収穫祭。なな山農園のカボチャ、ネギ、ダイコンにうどんを入れてホウトウ汁。差し入れ=ズイキの煮物、みかん、りんご、カステラ、マドレーヌなど沢山。贅沢な収穫祭になりました。



2007・12・9(日)快晴 気温12

秋晴れ。なな山は全山紅葉して本当に美しかった(写真下)。また新入会員あり、参加者17人。
「作業」落枝拾い。ソダ置場作り(東谷)、常緑樹の伐採、ナメコがまた発生・収穫、植物観察・養生。



「観察」見つけた植物 = マルバウツギの実、コバノガマズミの実、ゴンズイの実、トウネズミモチの実、エビヅル(新発見)、ツボスミレの花(季節を間違えたのか?)。

6期生の高橋さんが入会されました。
 風間さんのお母さんが参加され一日活動されました。(若々しい!)。10時の休憩時里山の保全について意見交換しました。
 差し入れ=お手製の大学イモ(高木さん)。

なな山だより 第10号
 発行
 発行責任者
 住所
 ホームページ
 編集委員

平成20年1月20日発行
 なな山緑地の会
 高木直樹
 多摩市和田 1394 13
 http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/
 鎌田文雄・中原君代・戸谷恵麻

編集後記

あけましておめでとうございます。今年には東側の山も活動エリアになります。また、講座修了生お二人を迎え、会員は40名を越えました。「なな山だより」も第10号を達成です。新しい年、新たな希望を抱いてスタートしましょう。 K